

新年の挨拶

第379号

1月号

エスペランス通信

新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、利用者様やご家族の方々並びに関係者の皆様からご支援、ご協力を賜り無事新年を迎えることができましたことを心よりお礼申し上げます。

さて、今年は介護事業の根幹である介護保険制度を持続するためにサービス提供体制の再構築という大きな節目とも言われています。これまでの課題である地方の人口減少により社会構造が激変している状況です。そのなかでも地域産業の労働力を外国人材や高齢者が担う時代に変化しています。また、身近な課題として認知症高齢者や老々介護をされている高齢者の増加です。介護業界の課題も社会構造の変化に直結しており介護を必要とされる介護需要はこれからも増加し介護を担う人材の不足への対応が急務です。そこで国の政策としてこれまでに介護職の賃上げによる人材確保を進めています。また、重点施策として介護のデジタル化による生産性向上を加速させる重要な局面を迎えます。今後の介護事業の動向として介護保険に係る介護報酬(介護サービス費等単価)の臨時改定が6月に異例で実施される予定です。改定の柱は介護人材の賃金改善による人材確保とデジタル化による生産性向上を目的とした介護報酬の引き上げです。また、物価高騰の対策として介護保険施設の食費の基準費用額の見直しが行われます。これに伴い介護サービス利用に掛かる利用者の自己負担額の改定が行われますのでご理解とご協力をお願いいたします。

今年も自然災害リスクや社会情勢の影響が懸念されますが当法人としても対応力と柔軟性を駆使し職員が丸となって邁進していきます。これからもケアの質の向上を図るためデジタル技術の導入を進めますがケアの本質に注力することと安全安心を第一として皆様に笑顔で利用していただけることが私達の最大の力です。また、これからも地域の医療福祉の拠点として認知症カフェ・医療介護フェスタ・エスペランス通信による情報発信等を継続し、地域との繋がりを大切にした運用に努めてまいりますので本年もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

リハビリ室です

明けましておめでとうございます。リハビリ室です。お正月料理といえば、おせちにお餅ですね。利用者様から、「お餅、大好きなんです。」とよく聞きます。我が家でも、お餅は子どもたちが好きで、普段のおやつに、きな粉や砂糖醤油を付けていただきます。栄養も豊富で、炭水化物、タンパク質の他、ビタミンB1やミネラルも豊富のこのお餅。ご存知な方も多いと思いますが、ご高齢の方、嚥下(飲み込み)機能の低下がみられる方には、とても危険な食べ物です。お餅は、「噛み切りにくく、喉に張り付く」という特徴があり、それは、窒息リスクを高める要因となります。そこで、ご家庭で食べる際、安全に食べることができるよう工夫が必要です。お餅を料理する時は、あらかじめ小さく切りましょう。また、焼餅よりも煮たお餅のように水分のある方が飲み込みやすいです。汁物の中に入れてたり、大根おろしなど水分のある食材と合わせるのも良いでしょう。食べる前には、お茶や水分で口の中を潤し、よく噛んでいただいでください。

発行年月日
2026年1月1日

発行責任者
吉久 学
広報委員会



カフェ 『つむぎ』

日時：令和8年1月18日(日) 10:00~

場所：小規模多機能型 居宅介護支援事業所
「和が家」にて開催します。

<http://www.esperance.or.jp/>



レクボラ委員会



12月11日にクリスマス・忘年会を開催しました。今年は2020年以来、5年ぶりにエスペランス・アネシス・和が家の3事業所合同で実施しました。久しぶりの大所帯でのイベントに少しソワソワしながらも、ボランティアの方のギターと三味線の弾き語りを楽しむことができました。懐かしい歌に感極まり涙が出たり、いつにも増して穏やかな表情で過ごされる方など利用者様のさまざまな表情が見られました。コロナ禍以降、イベントが自粛され、気持ち的にも落ち込むような感覚が続いていましたが、久しぶりにたくさんの人と集まって催し物ができ、私達職員も初心に戻ったような気がします。これからも利用者様、職員みんなが笑顔で過ごせるように季節のイベントを実施していけたらと思います。



嚥下委員会



エスペランス給食嚥下委員会では年に1回職員の勉強会を開催しています。今年は『トロミ調整食品の基礎知識と適切な使用に向けて』というテーマで学びましたので少しその内容を紹介したいと思います。トロミ調整食品とは咀嚼・嚥下機能(噛む力と飲み込む一連の反射運動)が低下した方が、食べ物や飲み物を安全に摂取できるように、液体に粘度を加える粉末状の食品でご家庭でも使用可能です。エスペランスでは対象の方がおられる場合、言語聴覚士が評価を行い、水分摂取の際にどの程度の粘度が必要かを判断し、適切な形で提供しています。薄めのトロミ、濃いトロミとその方に合わせ調整しています。一方でトロミを付ける事を嫌がられる方も少なくありません。誤嚥していても自覚がない場合もあります。安全に水分摂取をしていただくためのものですが、トロミ調整食品を入れすぎると飲み物の風味を損ない、飲み残しや食べ残しにつながり脱水や低栄養の原因になることもあります。トロミが強すぎた場合は同じ液体を加えることで調整が可能です。また、トロミをが付きにくい食品としては牛乳、オレンジジュース、酢の物などがあります。一度トロミを付けも時間が経つと粘度が変化する場合もあるため付けすぎには注意が必要です。今回の勉強会では日頃使用しているトロミについて改めて振り返ることができました。次回は職員間でトロミ付け体験会を行い実際に飲んでみたり、介助の体験もしてみようと考えています。みなさんもトロミについてお困りのことがあればお気軽にご相談ください



入所部門



もういくつ寝るとお正月♪と歌っていたらあつと言う間にお正月になってしまいました。皆様はどのようなお正月を過ごされたでしょうか。暖かいような寒いような、体温調節が難しい気候が続いています。世間はインフルエンザが流行していますね。入所の利用者様には今のところ発症者はおられません。コロナ流行以降ご家族の面会が再開してから発症者が出ていないことは、ご家族様のご協力もあってのことです。ありがとうございます。まだまだ油断できない状況が続きますが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。私たち職員も気を引き締めて健康管理に十分注意していきたいと思っています。この時期になると、風邪や肺炎など利用者様にとって重症化するリスクが高く、入院されることもあります。元気に新年を迎えられることが当たり前ではないことを実感します。利用者様と元気に「あけましておめでとうございます」と笑顔で挨拶できたことをうれしく思います。2026年もよろしくお願いいたします。

